

一般質問のその後

問Ⅱ移動投票所の設置は 答Ⅱ平成31年度の実施に向けて



筒井 一水 議員

期日前移動投票カードの設置については、平成29年6月定例会において町長は、中山間地域における投票所への移動が困難な状況と実感している。課題はあるが研究して積極的に取り組むと言っていたが、その後どのように取り組んでいるのか。

筒井総務課長

中山間地域に住む高齢者は、投票所への移動に不便な状況が多く見受けられる。このような状況で、車を使用した巡回型の投票所を導入することは、有権者

の利便性向上に向けた有効な方策と考える。選挙管理委員会としては、早ければ県議会議員選挙での導入を念頭に置き、実施に向けて協議を進めていく。

保育時間延長 調査した結果は

筒井議員

平成29年4月から神谷地区からの要望で始めた保育園の時間延長は、対象の園児がいらないのに1年間実施したのはどうしてか。また、他の保育園について、ニーズ調査を行うと言っていたが調査を行った結果は。

池田町長

神谷保育園が平成29年度から開園時間を30分早め、午前7時からの受け入れを開始している。当初は子育てニーズとして聞いていた

が、現段階で7時からの利用されている方はいない。昨年末に行った「幼稚園・保育園におけるニーズアンケート」では、土曜の1日

保育の要望や開園時間の延長について意見を保護者から聞いている。

その結果を受け総合教育会議に今後検討していく旨、報告している。

保育時間の延長は、保育園で過ごす時間が長時間となるので、子どもが安心・安全に過ごせるよう配慮に努める一方で、保育士の確保といった点が懸念される。しかし、多様な働き方を支える保育も子育て支援の一環として必要性を感じているので、真に必要とされるニーズを見極め、保育士への負担や体制を考慮しながら、検討していく。

筒井議員

神谷保育園での7時から延長時間に園長と主任の保育士が1年間交代で勤務していたと聞く。利用する園児がいらないのなら保育士の負担を軽減するためにも

通常時間に戻すべきではなかったのか。

藤岡教育長

職員の負担感や勤務時間の配置については心配している、現場の意見も聞いた中で園長・主任の時差出勤の形で臨んだが、園の管理責任の上で時差出勤の上に出勤が重なっているといった現状もある。委員会としては年度初めに始めた受け入れの態勢であるので、神谷地区の保護者の意見を聞いて継続するか中止にするか慎重に考えていく。

避難所における安心・安全の確保

筒井議員

避難所に、ソーラーパネルと蓄電池の設置は、防犯上の避難所として整備する場合、自家発電装置は補助対象だが、ソーラーパネルと蓄電池は、現在対象外となっているので自家発電装置やソーラーパネルによる代替電源の設置は検討すると言っていたが、その後ど

のように検討がなされたのか。

池田町長

南海トラフ地震が発生した場合、長期にわたり停電することが想定される。発電機の運転といったも、燃料の供給が途絶える可能性が高いこともある。

ソーラーパネルを利用した照明設備については、平成30年度予算で、防災対策費の避難所照明設置工事として一か所分93万7440円計上している。設置箇所は確定していないが順次整備していく。

筒井議員

緊急時の避難所に対して多額な照明ではなく、もっと安価で簡易的な照明装置を何か所にも備えるべきと考えるが。

池田町長

避難所に対して簡易的な照明については、これから順次整備していく。